

「みんなのリーフレット」で街のバリアを探してみよう(その1)

<イラストの説明・解説(リーフレットに説明の載っているイラスト分)>

① エレベーター



エレベーターでないと移動できない人がいます。

心ない言葉や態度、見て見ぬふりをする人によって、スムーズに移動できないバリアが生まれます。

② バリアフリートイレ



車椅子やオストメイト(※)、乳幼児連れの人、手助けが必要な人等が使えるように作られたトイレです。また、見た目で分かりづらくても、このトイレが必要な人もいます。

☞このトイレでなくても用をたせる人がこのトイレを使うと、このトイレしか使えない人が困ります。

※人工肛門・人工膀胱を持っている人のことです。

③ 段差・階段



みせ まえ だんさ はい ひと だんさ あし しゃりん ひ きけん
お店の前などに段差があると入れない人がいます。段差があると足や車輪が引っかかってしまい危険
です。

でもなぜ段差があるのでしょうか。また、絵には通れている人もいます。バリアはどこに(いくつ)あると
おもいますか。

⑤ 観劇・鑑賞



じょうほう つた かつ ふじゅうぶん ひと ひつよう じょうほう え ばあい
情報の伝え方が不十分なため、人によっては必要な情報が得られない場合があります。

しかくしょうがい ちょうかくしょうがい ひと も じひょうじ おんせいあなうんす じょうほう え
視覚障害や聴覚障害の人は、たとえば、文字表示だけ、音声アナウンスだけでは、情報を得られませ
ん。

にちじょうせいかつ こんなん こうえんかい てんらんかい しばいなど じゅうぶん たの
そのことで、日常生活の困難さはもちろんのこと、講演会・展覧会・お芝居等も十分に楽しめません。

じまく しゅわつうやく おんせい てんじなど ひと あ じょうほう つた かつ こみゆにけーしょん もと
字幕・手話通訳・音声・点字等、その人に合った情報の伝え方やコミュニケーションが求められます。

ほじょけん もうどうけん ちょうどうけん かいじょけん
⑥補助犬(盲導犬・聴導犬・介助犬)



しょうがい ひと じりつ しゃかいさんか たいせつ ぱーとなー
障害のある人が自立と社会参加をするための大切なパートナーです。

ほうりつ (※) で、おみやせ しみせつ ほじょけん どうはん ことわ さだ
法律(※)で、お店や施設は、補助犬の同伴を断ることはできないと定められています。

しんたいしょうがいしゃ ほじょけんほう
(※身体障害者補助犬法)

しけん
⑦試験



しゃかい るーる せいど こうへい しけん けんしゅう う ばあい
社会のルールや制度によって公平に試験や研修を受けさせてもらえない場合があります。

しけん しゅうしょく す ばしょ か ばめん こうへい きかい あた ばりあ
試験、就職や、住む場所を借りるなど、さまざまな場面で、公平な機会を与えてもらえないバリアがあります。